

第 31 回バイオマスタウン構想の公表

【新規公表：4 構想の概要】

群馬県東吾妻町（ひがしあがつままち）

東吾妻町において賦存量の多い家畜排せつ物の堆肥化、メタン発酵や炭化などの高度利用と林地残材の広域活用を軸として両者の複合処理も視野に入れ、構想の実現を図っていく。

鳥取県米子市（よなごし）

米子市がもつ木質バイオマス、廃食油、下水汚泥、生ゴミ、農業系未利用バイオマスなどの資源の利活用について、市民、事業所及び関係団体と行政が互いに連携しながら推進するとともに、資源循環型の地域社会を構築することを目指す。

島根県飯南町（いいなんちょう）

林地残材や製材工場残材等の木質系バイオマスの有効活用による「里山再生」をめざすとともに、家畜排せつ物や下水汚泥の堆肥化等を今後とも更に進め、農林業をはじめとする地域産業の振興と地域循環型社会の形成を図る。

熊本県玉東町（ぎょくとうまち）

生ゴミの肥料化や廃食用油の BDF 利用、果樹の剪定枝など木質バイオマスのエネルギー利用など、玉東町に多様に存在するバイオマスの利活用を進めるとともに、町民のバイオマスに対する理解や関心を深め、ゴミの減量化・環境に優しい循環型社会を形成する。

【改訂公表：2 構想の概要】

山梨県山梨市（やまなしし）(改訂)

秩父多摩甲斐国立公園の雄大な自然と豊富な温泉資源を活用した観光業、桃やぶどう、りんごなどの果樹栽培と市の面積の約 80% を占める山林を活用し、生活系廃棄物のメタン発酵処理・燃料利用、廃食用油の BDF 化・燃料利用、

果樹・剪定枝等をはじめとする木質系バイオマスの燃料利用によるバイオマスの利活用を図る。

長野県千曲市（ちくまし）（改訂）

1. バイオマスの焼却量削減と利活用、2. 農家に信頼される優良たい肥の生産、3. 土づくりと農作物の栽培、4. 地産地消による農作物の流通、を基本目標とし、一般家庭や農家とも協働して、生ごみ、家畜排せつ物、廃おがくず等のたい肥化、食品残さ等の飼料化、廃食用油のBDF化の取り組みを進める。